

第74回 西日本学生体操競技選手権大会

要 項

期 日	令和6年5月24日(金)～26日(日)
会 場	北九州市立総合体育館 〒805-0011 福岡県北九州市八幡東区八王寺町4-1 (TEL) 093-652-4001
主 催	西日本学生体操連盟
共 催	北九州市(予定)
主 管	九州学生体操連盟 東海・北信越学生体操連盟 関西学生体操連盟
後 援	福岡県教育委員会 北九州市教育委員会 公益財団法人日本体操協会 九州体操協会 (予定) 福岡県体操協会 全日本学生体操連盟 株式会社朝日新聞社
協 賛	未 定

1. 参加資格

- (1)今年度、全日本学生体操連盟規定に基づく加盟を行った、九州支部、関西支部、東海・北信越支部に所属する大学(専修学校、高等専門学校を含む、以下省略)の者。
- (2)全日本学生体操連盟への登録が4回以下の者で、各大学所在地の都道府県体操協会の定める登録規定により登録を済ませた者。
- (3)登録・加盟については(公財)日本体操協会及び全日本学生体操連盟に4月30日までに登録・加盟を行えば認める。但し、新入生は大会前日までとする。

<男子>

- ・本年度支部インカレへチーム出場した一部校は、チーム出場枠を1つと個人出場枠4つを与える。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。
- ・本年度支部インカレへチーム出場し、同大会後に開かれた通過者会議において本大会へチーム出場を認められた二部校は、チーム出場枠を1つと個人出場枠2つを与える。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。
- ・本年度支部インカレへ出場し、同大会後に開かれた通過者会議において本大会へ個人出場を認められた選手は、本大会への個人出場を認める。但し、同選手を他の選手への選手変更することは認められない。

<女子>

- ・本年度支部インカレにチームで出場した大学は、チーム及び該当する個人枠数の個人選手の出場を認める。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする(ここでいう本年度支部インカレのチームとは5～6人で構成されていることを条件とする。本年度支部インカレに3～4人でチームを構成し出場している大学は、本大会の個人出場を認める)。
- ・本年度支部インカレに個人のみで出場している大学及び本年度支部インカレに3～4人でチームを構成し出場している大学は、出場した選手のみ本大会個人出場を認める。但し、本年度支部インカレに出場していない選手への変更は認めない。

※ 下記に該当する大学及び選手は、本大会への出場を認めるものとする。但し、大学名、選手名、理由等を書面に記入し、責任者の押印の上、所属している学生体操連盟に提出し、会長と委員長の承認を得ること。

- ・全日本学生体操連盟の登録が初回の者で、本年度支部インカレに出場できなかった者。
- ・怪我及びやむを得ない事情により本年度支部インカレに出場できなかった者。

2. 参加人数

(1) チーム編成

- ・男女共、チーム編成は各大学1チームとし、5～6名(ベスト5)とする。
- ・いかなる場合においてもベスト5を組めない時点で個人扱いとする。

(2) 個人参加

<男子>

- ・支部インカレにおいて本大会へのチーム出場を認められた大学。
1 部校・・・4名 2 部校・・・2名
- ・支部インカレ後に開かれる通過者会議において個人出場を認められた選手。

<女子>

- ・予選に個人参加の大学・・・4名まで
- ・チーム出場校 1 部校・・・4名まで 2 部校・・・2名まで

(3) 補欠および選手変更

- ・各チームの補欠人数は定めず、補欠登録も行わない。なお、補欠として大会期間中に会場内に入場できる者は、各チーム2名までとする。
- ・チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。
- ・競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、初回申し込み時に記載された選手名のみとなる。
- ・選手変更および棄権の申請は、**5月24日(金)**の監督会議前までに所定の用紙を受付に提出すること。但し、監督会議後に特別な理由で出場不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。
- ・選手のゼッケンについては、チーム6人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

3. 競技方法

(1) 採点規則及び競技規則

- 男子・・・2022年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。
- 女子・・・2022年版採点規則(競技I)及び体操競技情報最新号を適用する。
- ・器具については(公財)日本体操協会認定器具を使用する(詳細は部報に記載する)。
- ・0.000は棄権ではなく、得点として扱う。
- ・競技中の負傷により演技の継続が不能になった場合、残りの種目の得点は0.000とする。
- ・跳馬のメジャーは本連盟で準備したものを使用すること。
- ・新技申請は5月24日の監督会議前までに受付に提出すること。それ以後の申請は認めない。
- ・開始種目とゼッケンナンバーは本連盟において決定する。尚、試技順は繰り上がりに統一する。

4. 順位の決定

- (1) 団体総合選手権: 各種目のチーム得点(ベスト5)の合計によって決定する。
- (2) 個人総合選手権: 男子6種目、女子4種目の総合得点によって決定する。
- (3) 種目別選手権: 各種目の得点によって決定する。全種目実施しなくても表彰の対象とする。

5. 表彰

- (1) 団体総合選手権の部 優勝 賞状・メダル・優勝杯 2～3位 賞状・メダル 4～6位 賞状
- (2) 個人総合選手権の部 優勝 賞状・メダル・トロフィー 2～3位 賞状・メダル 4～6位 賞状
- (3) 種目別選手権の部 優勝～3位 賞状・メダル 4～6位 賞状

6. 審判員派遣について

- (1) 参加選手の人数によって審判員を派遣すること(男女別)。派遣人数は以下の通りとする。
 - ・団体出場する大学・・・2名
 - ・個人2～4名出場する大学・・・1名
- (2) 審判員の資格は2種以上とする。尚、学生は認めない(例外として大学院生は認める)。但し、本部より特別に派遣する場合もある。
- (3) 審判員を派遣できない大学は、1名につき40,000円をもって本部に依頼すること。
- (4) (公財)日本体操協会委員を派遣する場合はあらかじめ大会本部の承認を得ること。
- (5) 各大学指導者(部長、監督、コーチ)を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み締め切りまでに提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (6) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。帯同審判員はE審判だけでなく、D2審判員、計時審、線審に配置されることがある。
- (7) 派遣審判員にかかる費用については全て大学が負担すること。

7. 補助役員について

- (1) 本大会にチーム出場する大学は2名の補助役員(男女ともチーム出場する大学は3名)を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき10,000円の依頼費をもって本部に依頼すること。
- (3) 補助役員はセッティング、補助役員会議への参加を義務付ける。

8. 第78回全日本学生体操競技選手権大会出場について

- (1) 1部校は、本大会に参加しない場合、第78回全日本学生体操競技選手権大会への参加は認めない。
- (2) 2部校は、第78回全日本学生体操競技選手権大会の予選を兼ねており、下記の全日本学生体操連盟の通過基準により西日本インカレからの予選通過チーム、個人を決定する。

<男子>

- ・チーム:12校(令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各6校)
- ・チーム個人選手 18名(令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)
 - 1～3位校:各2名
 - 4～6位校:各1名
- ・予選通過個人選手①:2名(本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の令和6年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名)
- ・予選通過個人選手②:2名(本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、令和6年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各11名)

<女子>

- ・チーム:10校(令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権上位各4校)
 - (上記8校を除く、令和6年度の東・西インカレ団体総合得点を比較し、その上位2校)
- ・チーム個人選手:12名(令和6年度の東・西インカレ団体総合選手権の成績より)
 - 1・2位校:各2名
 - 3・4位校:各1名
 - 得点比較2校:0名
- ・予選通過個人選手①:2名(本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手の令和6年度の東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名)
- ・予選通過個人選手②:16名(本大会チーム出場大学以外の大学に所属する選手から上記予選通過個人選手①を除いた、令和6年度の東・西インカレ個人総合選手権上位各8名)

- ※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手(女子においては予選通過個人選手②)を5名(5枠)増やすこととする。
- ※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手(女子は予選通過個人選手①)の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。
- ※ 同じ大学に所属する6名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。なお、これを適応する選手は東・西インカレチーム出場選手に限る。
- ※ 東・西インカレにおける通過者会議で決定した予選通過個人選手から大会申し込み一次締め切りまでに棄権の申し出があった場合、東・西インカレにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。
- ※ 全日本インカレ申し込みについては、全日本学生体操連盟ホームページより確認してください。

9. 体操競技同点順位について

(1)表彰について

団体 個人総合 種目別選手権ともに同点は同順位として表彰する。

(2)通過に関する順位付けについて

団体選手権については、全種目(男子6種目、女子4種目)のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残り種目(男子5種目、女子3種目)の得点の合計が高いチーム。それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。(さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム)最低種目得点の男子5種目、女子3種目を除いても尚同点の場合は、同順位とする。

個人総合については、団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。すべての種目の得点が同点の場合は、Eスコアの合計点の高い者。それでも同点の場合はDスコアの合計点の高い者。

種目別については、Eスコアの高い者。それでも同点の場合は個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。

10. 参加料

(1)参加費(保険料、医療費含む)

団体 1 チーム 60,000 円

個人 1 名 12,000 円

(2)審判依頼費 40,000 円

(3)補助役員依頼費 10,000 円

11. 参加申し込み・参加費振り込み

エントリーについて

各地区の大会から西日本インカレまで期間が短いので地区大会終了の翌日の締め切り日としています。

Web 締め切り …… 女子 1 部・2 部校 および 男子 1 部校 : 4月22日(月)

男子 2 部校 : 関西学連所属大学 東海・北信越学連所属大学

4月29日(月)18時まで

九州学連所属大学(事前の審判派遣等の調査はさせていただきます)

5月5日(日)18時まで

振り込み期間……………5月7日(火)まで

部報掲載予定日……5月10日(金)

- ※ エントリーについては西日本学生体操連盟ホームページ(<http://kyusyugakuren.moon.bindcloud.jp/pg12.html>)
をご覧ください。プログラム作成等の準備がある為、締切日を厳守すること。
- ※ 期日を過ぎたものは一切受け付けない。

12. 振り込み先

西日本シティ銀行 七隈支店(店番号:711)

口座番号：1001907 西日本学生体操連盟 会計 村山 黎奈 (ムラヤマレイナ)

- ・参加費は本連盟指定の銀行へ締め切り期日までに必ず大学名で振り込むこと。銀行振り込み以外は認めない。
- ・原則として締め切り期日以降の欠場は認めるが、参加費等は返却しない。

問い合わせについては

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1

福岡大学 スポーツ科学部 田口晴康研究室内 西日本学生体操連盟

連絡先:委員長(谷本雪菜)・・・E-mail kyusyugakuren@yahoo.co.jp

13. その他

- (1) デッキおよび付属品は、各大学持参すること。しかし、本部で設置するものを使用してもよい。
- (2) 競技区域に入れる者は、大会役員・審判員・補助役員・競技者・チームリーダー・コーチ
(体操……1チームにつき2名まで、個人4名以上は2名まで、3名以下は1名)
その他、器械器具及び会場内の保持に必要な者に限る。入場する場合には必ずIDをつけること。
尚、音楽係のID保持者は、音楽席のみで活動すること。また、女子の段違い平行棒コーチはチームに1名、個人出場選手には大学ごとに1名とする。
- (3) トレーナー申請を希望する大学は、フィジカルトレーナー・メンタルトレーナーに関わらず、トレーナーの申請人数は男女共、各1名までとする。
- (4) 審判員、競技役員は競技中いかなる理由をもってしても本部の許可なしに、演技の指導、競技への参加、その他の任務を受諾することは出来ない。
- (5) 器具及び会場設備の破損の場合には、参加者全員を持ってその弁済にあたる。
- (6) プラカードは各大学で用意すること。
- (7) **体操競技のゼッケンに関しては、各大学で用意する。(縦 15cm・横 20cm) (男子は黒字・女子は赤字)**
- (8) 体育館内を使用する場合は清潔を保つように心がけ、大会日程中に出たごみは各大学で必ず責任をもって処理をすること。
- (9) 撮影については、申請をした者に限り許可する。

**※西日本インカレのプログラム広告依頼については、ダウンロードの欄に載せていますので各大学の皆様のご協力を
よろしくお願いいたします。**

**※宿泊については補助金の関係から、できるだけホームページのダウンロード欄に添付している名鉄観光を利用して
いただければと思います。**